事業所名　児童発達支援・放課後等デイサービス くまげら

支援プログラム

作成日　令和 7 年　3 月　11 日

法人（事業所）理念		利用者様の思いをくみ取り、他職種と連携し必要な援助を提供できるよう努めます 利用者様の成長を、ご家族とともに専門職からの視点で支えます 利用者様を第一に考えることでプロフェッショナル集団を目指します		
支援方針		各専門職（看護師・保育士・理学療法士等）が、プロの視点で分析し、適切なケア計画と実践に努めます 高い介助技術はもちろんのこと、アイコンタクトや表情、子どもたちのサインを五感で感じとり、気持ちが通じ合うケアを大切にします 利用者様、ご家族の言葉に傾聴・共感し、定期的な面談を基にともに方向性を導き出し、同意のもと援助をすすめていけるよう努めます		
営業時間		9 時　30 分から　17 時　30 分まで	送迎実施の有無	あり
		支　援　内　容		
本人支援	健康・生活	・健康状態について把握し、安定した体調で通所できるように支援します ・看護師を配置し、かかりつけ医師の指示に基づいて健康管理や医療的ケアの提供、家族への相談支援を行います ・家庭と連携し、安定した生活リズムで過ごすことができるように支援します		
	運動・感覚	・理学療法士によるアセスメント、機能訓練を通して身体的機能の維持向上、発達を支援します ・ハンモックやバランスボールなどの揺れ遊び、触覚遊びや外遊びなど様々な遊びを通して五感を用い、成長発達を促します。苦手な感覚にも無理せず挑戦していきます		
	認知・行動	・外遊びや季節の行事を通して、季節の移り変わりを感じ探索活動を楽しむ気持ちを育てます ・スライムや粘土、色水遊びなどで形や色、音の変化を感じることで、認知機能の発達を促します		
	言語 コミュニケーション	・言語聴覚士によるアセスメント、機能訓練を通して個人に応じたコミュニケーション方法の獲得や言語能力の発達、向上を図ります ・スタッフやお友達とのやり取りを楽しみながら、興味・関心の幅を広げられるよう支援します		
	人間関係 社会性	・集団での行事活動やゲームなどルールを守って行う活動を通して、他者との適切な関わり方を学べるよう支援します		
家族支援		・家族からの相談や悩み、困りごとについて助言を行います ・家族の休息やリフレッシュの時間を確保できるように支援します	移行支援	・幼稚園、学校との情報共有や支援会議へ参加し、連携を図ります ・サービス担当者会議などを通して、卒業後の通所先との情報共有を行います
地域支援・地域連携		・嘱託医や関係する放デイ・児童発達支援事業所、相談支援事業所と情報共有を行い、密な連携を図ります	職員の質の向上	・法人内での研修実施（虐待、災害時の対応、緊急時の対応、人権と倫理、感染対策、制度について） ・ケースカンファレンスの実施
主な行事等		季節の行事：お正月遊び、運動会、夏祭り、ハロウィン、クリスマス 春～秋季：月１回程度の外出レク、水遊びやお散歩などの外遊び 避難訓練：年２回実施		